

豊かな学びを深めて ふるさとを愛する人づくり

～協働・挑戦・創造 そして未来へ～

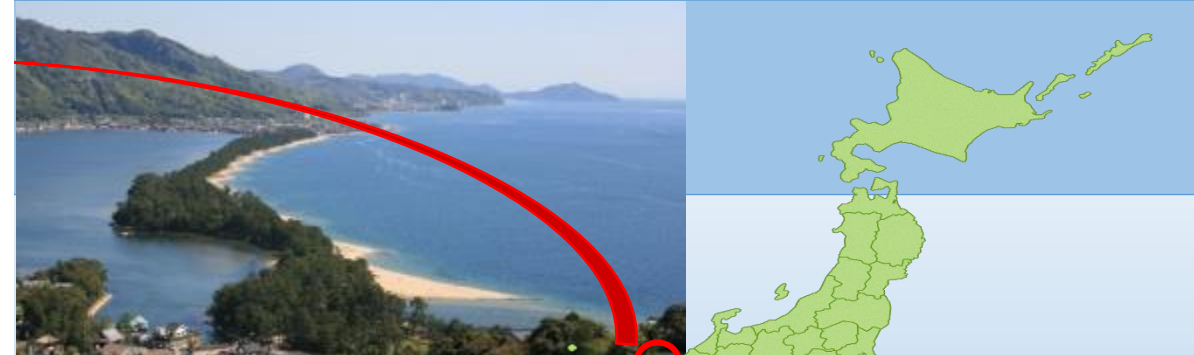


令和5年度学校魅力化フォーラム
宮津市教育委員会 教育長 山本 雅弘

本市の概要



天橋立 名勝100年・特別名勝70年



●産業

【観光】

北近畿の観光拠点として、年間約300万人の観光客が訪れる。天橋立をはじめとした既存の観光資源に加え、北前船や細川忠興・ガラシャゆかりの城下町としての歴史を活かした滞在型観光への転換を進めている。

- ・観光入込客数 169万人 (R3)
(R元：321万人)
(H26：273万人)
- ・外国人観光客宿泊数 0.0万人 (R3)
(R元：5.4万人)
(H26：1.9万人)

【農林水産業】

水稻を主体として、花き、山の芋などの地域特産物
定置網漁業を中心とした沿岸漁業
近年では、新たな特産品として「オリーブ」や「乾燥なまこ」
「ホンモロコ」などに取り組む。

【商工業】

ニッケル製造、メリヤス生地製造などの工場や海産物加工



●昭和29年6月に市制施行

旧宮津町と7か村（栗田村、吉津村、府中村、日置村、世屋村、養老村、日ヶ谷村）が合併し「宮津市」へ。昭和31年9月には由良村合併

●面積 172.74km²

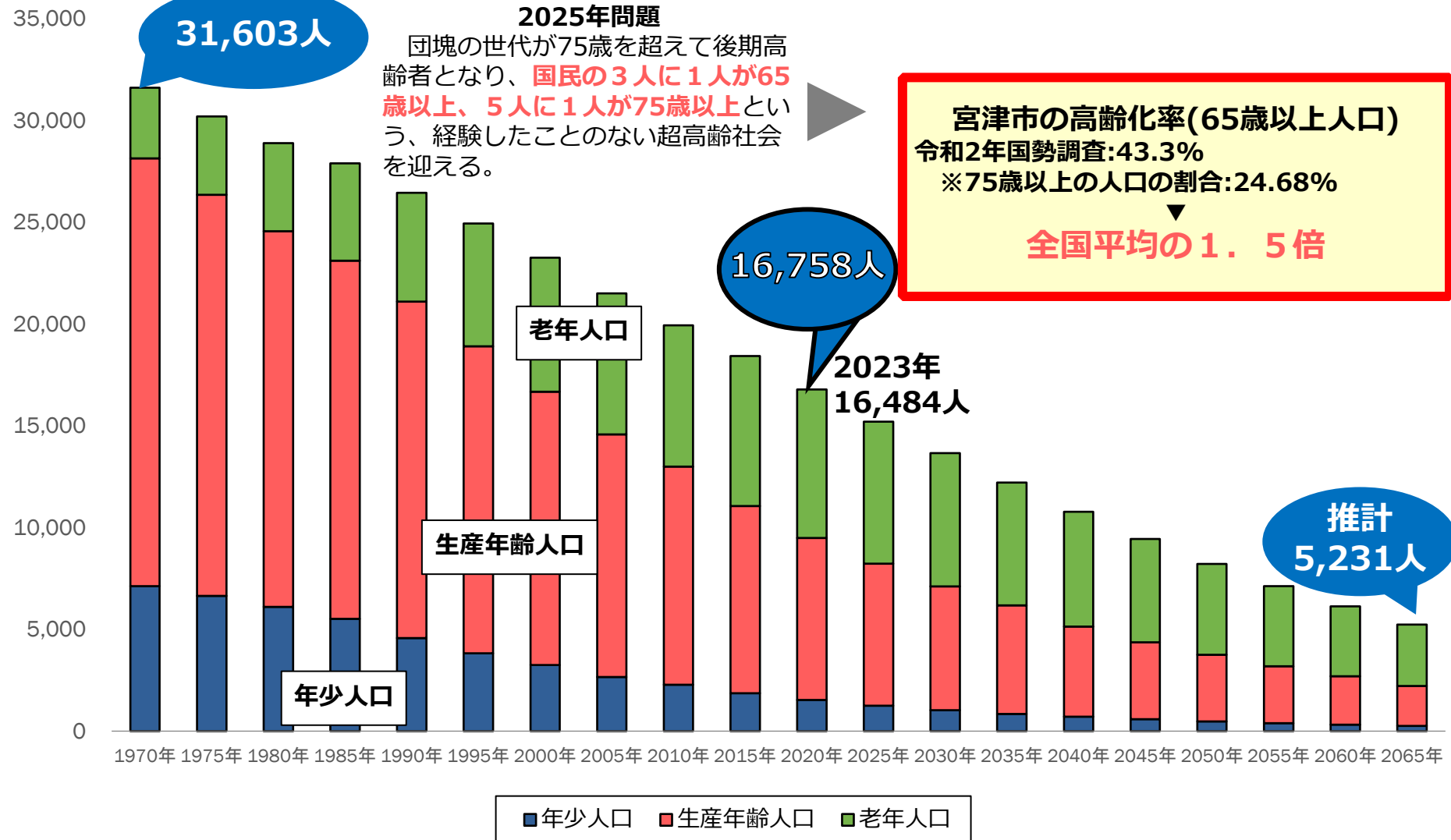
●人口 (R2国勢調査)

総人口 16,758人 7,292世帯
高齢人口 7,255人 (43.3%)
年少人口 1,595人 (9.5%)

●市内全域が過疎地域指定

本市の概要

市制施行直後の昭和30年（1955年）は36,200人



本市の概要

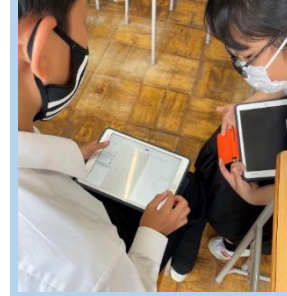
中学校組合立 橋立中学校



4小連携

吉津小学校
府中小学校
日置小学校
養老小学校

宮津市立幼稚園・小学校・中学校の位置



栗田学院
栗田幼稚園
栗田小学校
栗田中学校



宮津学院
宮津幼稚園
宮津小学校
宮津中学校

本市の教育

予測困難な時代
人口減少
学校小規模化

主体的・対話的で
深い学び

個別最適な学びと
協働的な学びの
一体的な充実

持続可能な
社会の作り手

質の高い教育？ 豊かな学びの確保？

どうする！？

本市の教育

豊かな学びを深めて

ふるさとを愛する人づくり

～協働・挑戦・創造　そして未来へ～

宮津の新しい教育の創造

小中一貫教育

ふるさとみやづ学

コミュニティ・スクール

<創造>教育の質的な向上

宮津市の新しい教育の創造 Version2.0～学びの時代～

Version1.0 枠組みの時代



小中一貫教育
コミュニティ・スクール

学びは
相似形

Version2.0 学びの時代

「習う」から「学ぶ」へ
認知能力と非認知能力



<挑戦>教育の質的な向上 小中一貫（4小連携協働学習）教育

【小中一貫教育】

中学校教員への兼務発令



小学校における教科担任制

小中合同の教科部会



【4小連携協働学習】

連携協働学習



同じ中学校に行く同級生



教育の質の向上

＜挑戦＞教育の質的な向上 認知能力と非認知能力の一体的な育成



心理的安心ある集団→自己有用感→意思決定・自己探究→学びに向かう力

＜連携・協働＞教育の質的な向上 ふるさとみやづ学の全面展開

地域社会

生活体験



自信



誇り



自然体験



愛着



社会体験



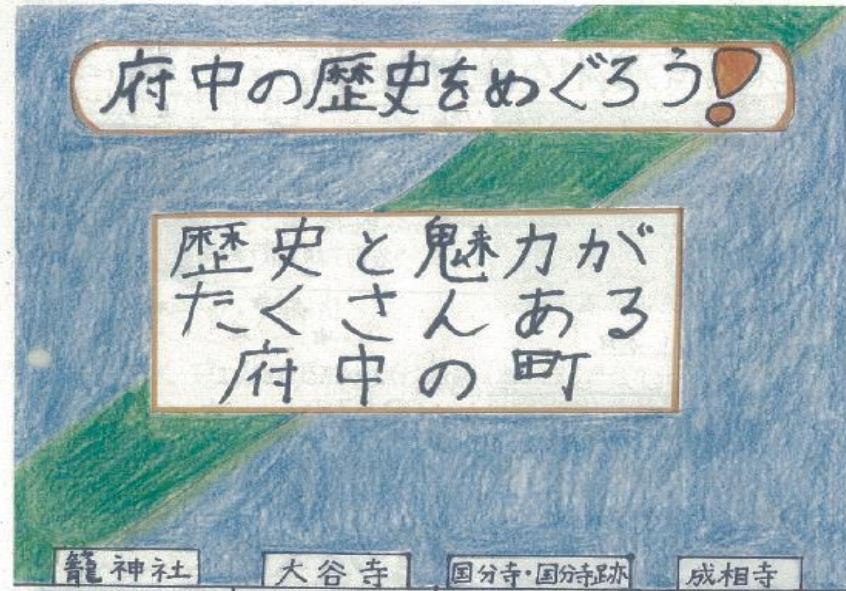
親・家族、先生以外の第三の大人との素敵な出会い

<連携・協働>教育の質的な向上 ふるさとみやづ学の全面展開

自信

誇り

愛着



ふるさとみやづ学 (小中学校)
ふるさとみやづ学 高校生立志編
大人のふるさとみやづ学



ぜひご覧ください!

＜連携・協働＞教育の質的な向上 教育フォーラムの実施

H28～

小中一貫教育
への理解

R1～

宮津の新しい
教育の取組

R4

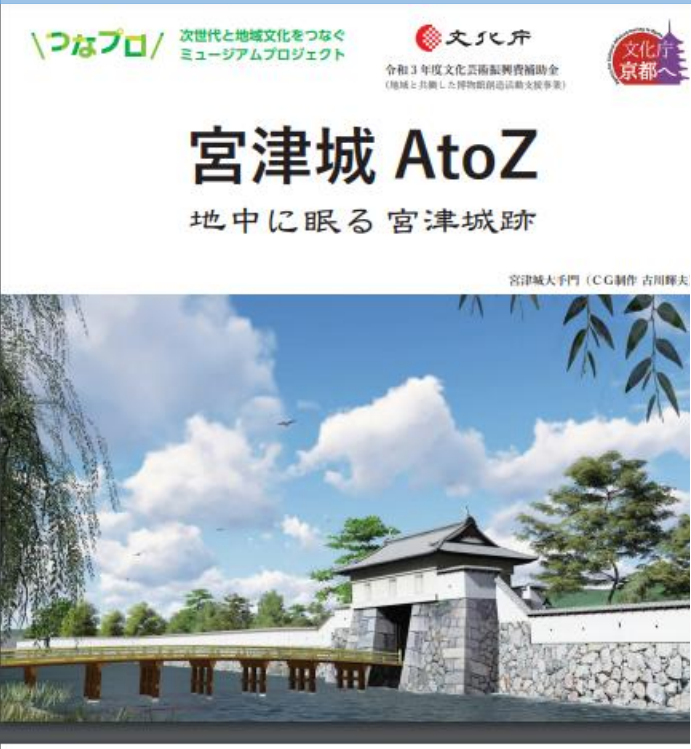
中学生・高校生
パネリスト

宮津の教育への理解が深まり、
ともに考えていただくような雰囲気醸成を



子ども
教員
市民
市長
総がかり

<連携・協働>教育の質的な向上 地元高等学校との連携協働



宮津城 AtoZ

発行日 令和4年3月18日

文・地図 [つなプロ宮津モデル参加者]
京都府立峰山高等学校 枝和生・和田樹
宮津市立宮津中学校・栗田中学校 有志
宮津市立宮津小学校 白石雄也
京都府立丹後郷土資料館 森島康雄

協力 宮津市教育委員会・宮津市立宮津中学校・
宮津市立栗田中学校・慈眼寺・常立寺・
天授庵・塩見直紀(半農半X研究所)

監修 京都府立丹後郷土資料館

発行 KYOTO 地域文化をつなぐミュージアム
プロジェクト実行委員会(事務局:
京都府文化スポーツ部文化政策室、
京都府立京都市学・歴史館)

C G 古川輝夫
写真提供 亀岡市文化資料館
(公財)京都府埋蔵文化財調査研究センター

つなプロ体験ツアー動画はこちら!
https://youtu.be/uGbOE_22Y3o



3つの
高等学校



市内高等学校との
連携協働推進会議

地元や学校の
魅力

<未来>宮津の新しい教育 宮津市の学校・学校施設の在り方

市民参加の教育懇話会

アンケート（児童生徒・保護者・教職員）

現役高校生のインタビュー

宮津市学校施設等の
在り方検討委員会



1. 多様性を認め合い、
自立心を高め合う
豊かな学びの創造
2. 「生きる力」の基盤を育む
幼児教育・保育の充実
3. ふるさとみやづの魅力を
生かした学びの実現

結びに

教育は、いつも子どもたちにチャンスやきっかけを
与える存在でありたい

出会いは新たな出会いをつくり
学びは次なる学びを作り出す

「今の自分があるのは、
宮津で学んだおかげだ。」

豊かな学びを深めて ふるさとを愛する人づくり ～協働・挑戦・創造 そして未来へ～



ご清聴
ありがとうございました。

令和5年度学校魅力化フォーラム
宮津市教育委員会 教育長 山本 雅弘